

やまとの名品 天理図書館



マードレ・デ・デウス号大砲

[ポルトガル] [1520頃]製
長さ 235cm 口径 11.5cm

天理図書館に置かれた大砲を目にされた方も多いのではないだろうか。この大砲は、慶長十四年十二月十二日（一六一〇年

一月六日）、肥前国（現長崎県）

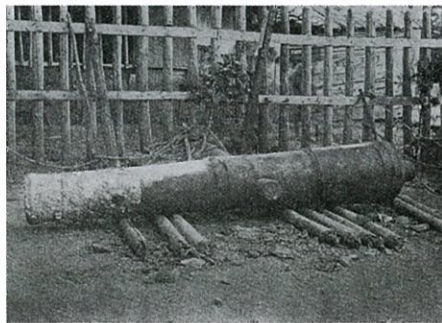
日野江藩主有馬晴信の軍勢との戦いの末に自爆自沈したポルトガル商船マードレ・デ・デウス号に搭載されていた三十六門のうちの一門である。昭和三年八月十九日に長崎港口から引き揚げられた。

発端は、徳川家康が長崎奉行長谷川左兵衛藤廣に占城の香木伽羅の調達を命じたことにある。藤廣はそれを調達できなかったが、有馬晴信が僅かばかりの伽羅を献上したところ、家康から

占城へ赴いて伽羅を調達するための銀子六十貫目（白銀一万五千兩）と鎧、金屏風などを下賜された。

慶長十三年、晴信は、家臣を占城へ送り出した。しかし、途中の媽港碇泊中に取引をめぐるポルトガル人と市中で騒動となった。媽港臨時総督アンドレ・ペソニアによって鎮圧されたが、朱印船の乗組員・家臣多数が殺され積荷も奪われるというものであった。

ペソニアは、翌慶長十四年、マードレ・デ・デウス号で事件の説明のため長崎に来た。ペソニアの来日を知った晴信は、家康に報復の許しを願い出てペソ



引き揚げ当時の写真

ニアの捕縛を試みた。察知したペソニアは、商取引も半ばで出港したが、逆風となって進めず、四日四晩の戦闘の末、最後は大砲に点火する火が帆に燃え移り、ペソニア自らが火薬庫に火を放ったと伝えられる。

（天理図書館 神崎順一）

天理図書館のお知らせ Tel：0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>

◆平日（午前9時～午後5時半） 土・日・祝（午前9時～午後4時半）

○12月の休館日：23日・24日 年末年始：12月27日～1月6日

（本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください）